



●学部学生 約14,000人 ●大学院生 約12,200 ●教員 約1,800人

ホームページ <http://www.unilim.fr>

交流協定締結年月日：2011年3月14日 主管学部：創造工学部



## 国際交流の特色

1968年に創立されたリモージュ大学（UL）はフランス西部に位置する5学部から構成された、西部地域の中心となる大学である。リモージュは、フランスで陶器の町として有名であり、有名な陶器ブランドの会社が店を並べた、歴史ある古い町である。工科系学部としてはENSIL（リモージュ高等工学院）があり、実践的な教育を実施している。なかでも電気自動車、自転車については、自動車の設計から製作まで一貫して行い、学生が各種のコンクールに参加するなど、多くの実績を持つ。

## 交流実績（平成28年度～30年度）

年度	H28	H29	H30
受入・派遣			
学生の受入	5	3	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0



## 教員からの声

毎年、数名の学生の受入が行われています。ロボット研究会のメンバーが多く、デバイス開発、ソフト開発に長けた学生が来ています。私の研究室にも数名来ますが、約6か月間、日本と香川の魅力を満喫してフランスに戻ります。日本の魅力は安全と伝統文化。香川の魅力は、京都・大阪・神戸・広島にすぐに行ける地の利と、瀬戸内海と四国の豊かな自然です。ウィークデーは研究活動に専念し、週末は目一杯楽しむ。多彩なオフの過ごし方は日本人学生の手本かもしれません。大歩危深谷は世界有数のラフティングのメッカです。楽しむ学生の姿が素敵です。  
創造工学部教授 石井明

## 学生からの声

私は、将来は世界で活躍出来る技術者になりたいと考え、学生の中に海外で実際に研究活動をしたいと思っていました。そこで、国際インターンシップに応募し、2014年12月から3ヶ月間、フランスのリモージュ大学のXLIM Research Instituteで、インターンシップをさせていただきました。インターンシップを通して、研究活動に対してフランスの人々がどういったことを大切に思っているかということがわかり、日本人との違いを学ぶことが出来ました。生活面においても、様々な国籍の人と友達になることが出来ました。学外に出ると、ほぼ英語は通じませんでしたが、リモージュの人々は非常に親切で、多くの人に助けていただきました。リモージュでの3ヶ月は、将来に向けた経験だけでなく、私にとってかけがえのないものとなりました。少しでも国際インターンシップに興味があるのなら、ぜひ参加してみてください。全力でオススメします！